



2017年日本語教育学会春季大会（早稲田大学）

チャレンジ支援企画 - 「わかば」なあなたに-

チャレンジ支援委員会では、昨年度に引き続き、大会会場で「わかば」なあなたが参加できる3つの特別プログラムを用意しました。ぜひご参加ください！



🌱「わかば」なあなたとは（非会員も大歓迎）🌱

- * 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方
- * 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- * 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみみたい方など…

🌱わかば・コンシェルジュ ◆5月20日(土)12:50-14:45/21日(日)9:00-13:30 大会受付横

「どこでどんな発表をしているの?」「どこに行けばいい?」など、「わかば」なあなたの素朴な疑問になんでもお答えします。お気軽にお立ち寄りください。

🌱わかばさんいらっしゃい ◆5月20日(土)12:30-13:00 国際会議場 第三会議室

「わかば」なあなた向けに大会の内容をダイジェストでご紹介するオリエンテーション。開会式会場までご案内もします! 昼食持参でぜひお越しください。

🌱ぷらさ da わかば ◆5月21日(日)12:10-13:20 3号館 4階 404 教室

皆さんの少し先を歩いている「センパイ」と出会い、研究や実践、キャリアの相談など、一対一で40分間自由に対話してみませんか。当日5月21日(日)9:00から大会受付に併設する「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを先着順(定員:21名)で受け付けます。センパイの詳細は次ページをご覧ください。

問合先: 公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会 E-mail: challenge@nkg.or.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F TEL: 03-3262-4291

※最新情報は、twitter (@NKGkouhou), 日本語教育学会 Facebook (公益社団法人日本語教育学会) で!





ぷらさ da わかば センパイリスト



《日時》2017年5月21日（日）12：10～13：20

《会場》早稲田大学3号館4階404教室（日本語教育学会春季大会会場）

《申込》当日5月21日（日）の9：00より会場受付併設「わかば・コンシェルジュ」にて先着順。

| | お名前・ご所属 (敬称略・50音順) | プロフィール |
|----|---------------------------------|---|
| 1 | いおり いまお 庵 功雄 一橋大学 | 「日本語学習者に説明するにはどうすればいいか」という観点から文法を考えています。最近「社会とつながる日本語教育」にも関心があり、Cool head with warm heartの研究を目指しています。 |
| 2 | いしい えりこ 石井 恵理子 東京女子大学 | 日本語学校、大学留学生センターを経て、国立国語研究所で現職教師研修の仕事に15年携わりました。今は大学に所属していますが、様々な地域で展開する日本語教育、特に子どもたちのことに関心を持って活動しています。 |
| 3 | いわせ ありさ 岩瀬 ありさ 大原学園 | 私はフェアトレードの会社に勤務後、英国へ。帰国後に日本語教師になりました。修論のテーマは「日本語教育と歌舞伎」。勤務校でその実践を続けています。現在の関心分野は、質的研究・ビジネス日本語・アカデミックジャパニーズです。 |
| 4 | うさみ よう 宇佐美 洋 東京大学 | 言語形式の習得を支援することだけが言語教育でしょうか。だとすればそれは、20年後にはすっかり機械に取って代わられていることでしょうか。生身の人間が言語教育に関わる意義について、日々考察を続けています。 |
| 5 | おかもと のりこ 岡本 能里子 東京国際大学 | 教育実習で英語教育に失望。民間の日本語教員養成課程を経て日本語学校教師デビュー。日本語教育の奥深さを実感し大学院進学。談話研究を開始。指導学生をアフリカモザンビーク、中米ジャマイカ（青年海外協力隊）、インドネシア（日本語パートナーズ）に派遣中。 |
| 6 | かねこ しろう 金子 史朗 友国際文化学院 | 日本語教育に携わってこのかた日本語学校一筋でやってきました。授業、教材作りの他、教員養成、研修会運営、学校事務、学生募集などに関わり、学習者、教員の双方にとって良い環境を作ることに取り組んでいます。 |
| 7 | かわかみ きょうこ 川上 恭子 園田学園女子大学 | 日本語中級・上級の留学生を中心に、日本語を教えてきました。現在は、日本人学生に日本語教師になるための日本語教授法や教育実習などの指導をしています。最近、短歌・俳句をどう教えるかにも興味を持っています。 |
| 8 | さかもと あさみ 坂本 麻美 くろしお出版 | 出版社で日本語教材や専門書を編集しています。以前は、日本語学校、大学、企業、中国などで日本語教師をしていました。日々再会や新しい出会いがあり、あらためて日本語教育は人と関わる仕事だなと実感しています。 |
| 9 | さくらい ちほ 櫻井 千穂 同志社大学 | JICAの日本語教師海外派遣、民間企業勤務を経て、大学院に進学しました。現在は、留学生に日本語を教えながら、文化言語の多様な子どもの言語発達や支援について研究しています。 |
| 10 | きこだ くみこ 迫田 久美子 広島大学 | 民間日本語学校の教師から大学院に入り、修了後、大学で教員養成に関わってきました。データによる日本語学習者の誤用や習得過程の研究に興味があります。日本語の教え方も研究も学習者に導かれてここまで来ました。 |
| 11 | さとう まさのり 佐藤 正則 山野美容芸術短期大学 | 30代の半ば、それまで続けていた演劇活動に終止符を打ち、日本語教師になりました。10年余り日本語学校で日本語教育に携わった後、大学に実践の場を移し、現在に至っています。主に留学生のライフストーリー研究をしながら、現場では実践＝研究を続けています。 |



ぷらさ da わかば センパイリストつづき



| | お名前・ご所属 (敬称略・50音順) | プロフィール |
|----|---------------------------------------|--|
| 12 | すなかわ ゆりこ 砂川 有里子 元筑波大学 | 筑波大学名誉教授・国立国語研究所客員教授，博士（言語学）。専門は日本語文法・談話分析，日本語教育。『日本語文型辞典』や『明鏡国語辞典』などの辞書編集の他，コーパスを使った日本語研究もしています。 |
| 13 | ただこゝろ きいこ 田所 希衣子 外国人の子ども・サポートの会 | 成人対象の日本語ボランティアとして17年活動後，「外国人の子ども・サポートの会」を設立しました。組織運営と生徒とサポーターのコーディネーターを担当しています。 |
| 14 | なかがわ ゆうじ 中川 祐治 福島大学 | 研究テーマは地域日本語教育です。福島をフィールドに，地域の日本語教室で活動するボランティアの方々と一緒に，日本語教育の視点から何ができるのかを模索中です。勤務校では日本語教員養成にも携わっています。 |
| 15 | なかまた なおき 中俣 尚己 京都教育大学 | コーパスを使った計量的な研究に関心がありますが，自分がそこに関心があると自覚したのはここ2，3年のことです。他人から見れば明白だったと思うのですが，なかなか自分のことはわからないものです。 |
| 16 | にし の あい 西野 藍 国際交流基金 | JOCV，JF 専門家派遣，JF 関西国際センター，日本語試験センター等で約80の国の人々（小中高生，大学生，院生，研究者，教師，外交官等）に出会い，学びを支えてきました。17年め。感謝と尊敬が信条です。 http://www.jpfi.go.jp/j/about/outline/img/Pamphlet_02.pdf |
| 17 | ふじた ゆういちろう 藤田 裕一郎 朝日大学 | 国内の日本語学校や海外の大学で働いた後，大学院で第二言語習得を学びました。現在は大学の留学生別科で留学生の予備教育に携わっています。「現場に生かせる第二言語習得研究」ができればいいなと思っています。 |
| 18 | ふじもと かおる 藤本 かおる 武蔵野大学 | 日本語教育でのIT利用，また，サブカルチャーを授業に取り入れる試みも行っています。専門学校卒で就職，海外遊学後日本語教師として働きながら通信制大学卒業，大学院へ。キャリアパスのご相談もお気軽にどうぞ。 |
| 19 | ますだ まみこ 増田 麻美子 文化庁 | 文化庁国語課に2人いる日本語教育専門職の1人です。今年5年目。日本語学校で15年間，非常勤，担任，専任，教務主任，養成講座の講師を経験させていただいたことが，業務に生きているかなと最近感じています。 |
| 20 | やまだ いずみ 山田 泉 法政大学 | 専門は日本語教育と多文化教育です。どちらも地球市民としての意識と能力の養成を目指す「教育」としてのありようを考えてきました。また日本を移住外国人等と「共生」できる社会とする方法を模索してきました。 |
| 21 | やまもと あきひこ 山本 晃彦 関西大学 | 国内では主に日本語学校や留学生別科で，海外ではインドネシアで大学生，現地の日本語教師への支援やEPA訪日前研修等に携わってきました。学習意欲・動機づけに興味を持っています。 |

以上